

科目ナンバリング	科目名	教員名
	論述問題演習	福岡 英明

開講詳細			
開講キャンパス	開講時期	曜日時限	単位数
渋谷	2025年度集中、2026年度集中	集中講義	2単位

講義授業	
授業の実施形態	対面型授業
授業のテーマ	現代日本の諸問題に関する小論文問題演習・集団討論・プレゼンテーション
授業の内容	※本科目はPCAPパブリックサービスキャリア・コースに登録している3年生以上（3月時点では3年生進級予定者）が履修可能です。 公務員試験では、専門試験以外にも、論文試験・集団討論・個別面接などが実施され、そこでは主として政策論が問われます。本演習は、これまで馴染みが少ないであろう政策論を実践的に学ぶプログラムであり、主として地方公務員(上級)などになることを念頭におきつつ、我が国で生起する様々な社会問題の中からテーマを設定し(具体的には、高齢化社会・治安維持・地域の活性化・防災など)、実際の試験の過去問を用いながら、論文問題演習・集団討議・プレゼンテーションの訓練を行ないます。
到達目標	以下の点につき、論文としてまとめることと、口頭で相手に伝えることが出来るようになる。 ・現代日本の社会問題、特に公共的な政策的課題について、現状と問題点を説明できる。 ・問題点に対して実現可能な解決策を提示できる。 ・自らの考えを論理的かつ説得的に説明できる。 ・時々刻々変化する社会の問題に問題意識を持ち続ける。

授業計画	
第1回	小論文を作成する ＊マス目のある原稿用紙（Ａ４）を用意しておくこと。  【事前学習 60分】 ⇒時事的な政策課題について調べる。 【事後学習 60分】 ⇒時事的な政策課題について調べる。
第2回	作成した小論文を相互に批評・検討する  【事前学習 60分】 ⇒時事的な政策課題について調べる。 【事後学習 60分】 ⇒不備な点を補足する。
第3回	小論文を作成する ＊マス目のある原稿用紙（Ａ４）を用意しておくこと。  【事前学習 60分】 ⇒時事的な政策課題について調べる。 【事後学習 60分】 ⇒時事的な政策課題について調べる。
第4回	作成した小論文を相互に批評・検討する  【事前学習 60分】 ⇒時事的な政策課題について調べる。 【事後学習 60分】 ⇒不備な点を補足する。
第5回	小論文を作成する ＊マス目のある原稿用紙（Ａ４）を用意しておくこと。  【事前学習 60分】 ⇒時事的な政策課題について調べる。 【事後学習 60分】 ⇒時事的な政策課題について調べる。
第6回	作成した小論文を相互に批評・検討する  【事前学習 60分】 ⇒時事的な政策課題について調べる。

	<p>【事後学習 60分】 ⇒不備な点を補足する。</p>
第7回	<p>小論文を作成する ＊マス目のある原稿用紙（A4）を用意しておくこと。</p> <p>【事前学習 60分】 ⇒時事的な政策課題について調べる。 【事後学習 60分】 ⇒時事的な政策課題について調べる。</p>
第8回	<p>作成した小論文を相互に批評・検討する</p> <p>【事前学習 60分】 ⇒時事的な政策課題について調べる。 【事後学習 60分】 ⇒不備な点を補足する。</p>
第9回	<p>複数のグループに分かれ、討議し、結論をとりまとめ、メモを作成し、これにもとづいて発表し、質疑応答をする。</p> <p>【事前学習 60分】 ⇒時事的な政策課題について調べる。 【事後学習 60分】 ⇒時事的な政策課題について調べる。</p>
第10回	<p>複数のグループに分かれ、討議し、結論をとりまとめ、メモを作成し、これにもとづいて発表し、質疑応答をする。</p> <p>【事前学習 60分】 ⇒時事的な政策課題について調べる。 【事後学習 60分】 ⇒時事的な政策課題について調べる。</p>
第11回	<p>複数のグループに分かれ、討議し、結論をとりまとめ、メモを作成し、これにもとづいて発表し、質疑応答をする。</p> <p>【事前学習 60分】 ⇒時事的な政策課題について調べる。 【事後学習 60分】 ⇒時事的な政策課題について調べる。</p>
第12回	<p>複数のグループに分かれ、討議し、結論をとりまとめ、メモを作成し、これにもとづいて発表し、質疑応答をする。</p> <p>【事前学習 60分】 ⇒時事的な政策課題について調べる。 【事後学習 60分】 ⇒時事的な政策課題について調べる。</p>
第13回	<p>受験を予定している自治体（都道府県、市区町村）の地理、歴史、気候・風土、人口動態、世帯構成、産業、予算・財政、直面している課題とこれに対する政策の策定・実施状況などが記載されたレジュメを配布し、これにもとづいて、各自、口頭で報告し、質疑応答を行う。</p> <p>【事前学習 60分】 ⇒プレゼンテーションの準備をする。 【事後学習 60分】 ⇒不備な点を補足する。</p>
第14回	<p>受験を予定している自治体（都道府県、市区町村）の地理、歴史、気候・風土、人口動態、世帯構成、産業、予算・財政、直面している課題とこれに対する政策の策定・実施状況などが記載されたレジュメを配布し、これにもとづいて、各自、口頭で報告し、質疑応答を行う。</p> <p>【事前学習 60分】 ⇒プレゼンテーションの準備をする。 【事後学習 60分】 ⇒不備な点を補足する。</p>
第15回	<p>受験を予定している自治体（都道府県、市区町村）の地理、歴史、気候・風土、人口動態、世帯構成、産業、予算・財政、直面している課題とこれに対する政策の策定・実施状況などが記載されたレジュメを配布し、これにもとづいて、各自、口頭で報告し、質疑応答を行う。 最終日最終限に実施します。</p> <p>【事前学習 60分】 ⇒プレゼンテーションの準備をする。 【事後学習 60分】 ⇒不備な点を補足する。</p>
授業計画の説明	<p>プレゼンテーションは質疑応答も含めて30分とするので、報告は20分程度とする（ただし、受講者の数によって変動する）。 直前になってあわてて準備しないように、十分に時間をかけること。</p>

授業時間外の学習方法	受験を予定している自治体（都道府県、市区町村）の地理、歴史、気候・風土、人口動態、世帯構成、産業、予算・財政、直面している課題とこれに対する政策の策定・実施状況などを、各自治体のホームページなどで調べておく。とくに、全国的に各自治体に共通する政策課題については、国の各省庁のホームページなども参考にするとよい。
受講に関するアドバイス	1日に4コマないし3コマ受講することになるので、体調の管理に留意すること。

成績評価の方法・基準		
評価方法	割合	評価基準
平常点	100%	授業時の論文問題演習・集団討論・プレゼンテーションにおいて、「到達目標」で挙げた諸点につき、論文としてまとめることが出来たか否か、また、口頭で自分の意見を相手に伝えることが出来たか否か、その他演習への貢献度により評価する。
	0%	無

注意事項	マス目のある原稿用紙（A4）を用意しておくこと。
実務経験に関する記載	なし

教科書・参考文献等					
教科書					
特に指定しない。					
参考文献					
ISBN番号	書名	著者名	出版社	備考	K-aiser
	地方上級・国家一般職[大卒]・市役所上・中級 論文試験 頻出テーマのまとめ方	吉岡友治	実務教育出版		<a href="#">著書検索</a>
	公務員試験無敵の論文メソッド	鈴木鋭知	実務教育出版		<a href="#">著書検索</a>
	公務員試験 論文・面接で問われる行政課題・政策論のポイント	高瀬淳一	実務教育出版		<a href="#">著書検索</a>
	公務員試験 現職人事が書いた「面接試験・官庁訪問」の本	大賀英徳	実務教育出版		<a href="#">著書検索</a>
	論文試験の秘伝	山下純一	TAC出版		<a href="#">著書検索</a>
	面接・官庁訪問の秘伝	山下純一	TAC出版		<a href="#">著書検索</a>